



## 西関東連絡道路の整備効果

### 所要時間短縮

十郎橋西交差点(甲府市)～岩手橋西詰交差点(山梨市)間が、従来の国道140号を利用した場合と比べ、西関東連絡道路を利用すると所要時間が半分になります。



### 周辺道路の混雑緩和と事故減少

従来の国道140号を利用していた車両が西関東連絡道路を利用することにより、国道140号をはじめ周辺幹線道路の混雑が緩和され、事故も減少することが期待されます。

国道140号八幡南ランプ入口交差点の渋滞状況



### 広域ネットワーク形成

将来的には新山梨環状道路と接続することにより、甲府市街地と峡東地域を結ぶネットワークが強化され、さらに山梨・埼玉両県の交流促進による経済発展・観光振興に寄与することが期待されます。

八幡北ランプ側から甲府方面を望む



# 西関東連絡道路

## 甲府山梨道路Ⅱ期



## 西関東連絡道路の管理

西関東連絡道路の監視について、新環状・西関東道路建設事務所内に監視制御室を設け、新山梨環状道路や県内の長大トンネルと併せ、24時間体制で行い道路利用者の安全確保に努めています。



監視制御室



万力八幡トンネル 太陽光発電システム



道路パトロールカー



## ごあいさつ



西関東連絡道路(国道140号甲府山梨道路Ⅱ期)の八幡南ランプから岩手ランプ間が、本日ここにめでたく開通の運びとなりました。ご協力いただきました皆様へ心から感謝申し上げます。

西関東連絡道路は、山梨・埼玉両県を広域的に結ぶ「地域高規格道路」であり、このうち甲府市桜井町から山梨市東までの区間を甲府山梨道路として平成9年度から整備を進めて参りました。

これまでに、桜井ランプから八幡南ランプまでを順次供用して参りましたが、この度、甲府山梨道路全区間が完成することになります。

今回の開通により国道140号の交通渋滞が緩和され、甲府都市圏と峡東地域との連携がさらに強化されるほか、現道の交通事故減少など沿線地域の生活環境も改善されると期待しております。

今後も、「輝き あんしん プラチナ社会」を創り上げるため、「ダイナミックやまなし総合計画」に沿った、県土づくりに全力で取り組んで参りますので、より一層のご理解とご支援を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

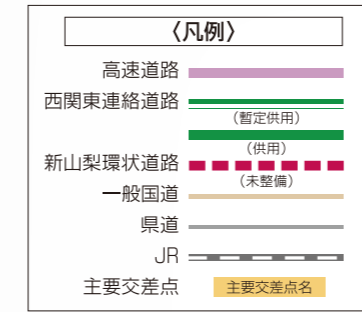
平成30年3月21日  
山梨県知事 後藤 斎

## 西関東連絡道路とは

西関東連絡道路は、甲府市桜井町から埼玉県深谷市の関越自動車道・花園インターまでを結ぶ延長110kmの地域高規格道路であり、広域的な交通ネットワークを形成し、山梨、埼玉両県の交流促進や沿線地域の経済発展・観光振興が期待されます。



## 甲府山梨道路の概要



事業概要	Ⅰ期区間	Ⅱ期区間
事業年度	平成9年度～18年度	平成20年度～29年度
道路規格	3種1級	3種2級
設計速度	80km/h	60km/h
車線数	2車線(暫定形)	2車線
延長	本線部延長5.4km(アクセス道路含む延長6.9km)	3.9km

### Ⅱ期区間標準横断面

